

津波避難等に関する県民意識調査 設問（案）

1. 回答者自身のこと

(1) 性別

- ◆性別
- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

(2) 世帯構成

◆ 世帯構成

- | | | |
|-------------|-------------------------|-------|
| ◎ 配偶者 | 1. あり | 2. なし |
| ◎ 子ども | 1. あり（1人 2人 3人 4人 5人以上） | 2. なし |
| ◎ 育児を要する同居者 | 1. あり | 2. なし |
| ◎ 介護を要する同居者 | 1. あり | 2. なし |

(3) 職業等

◆ 職業等

- | | | | |
|-------------|-------------|--------------|-----------|
| 1. 自営業者 | 2. 会社員・公務員等 | 3. パート・アルバイト | |
| 4. 専業主婦（主夫） | 5. 学生 | 6. 無職 | 7. その他（ ） |

(4) 業種（上記「職業等」の設問において1～3の職業をお答えいただいた方のみ）

◆ 業種

- | | | | | |
|-------------|------------------|--------------|----------|--------|
| 1. 農業 | 2. 林業 | 3. 漁業 | 4. 鉱業 | 5. 建設業 |
| 6. 製造業 | 7. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 8. 情報通信業 | | |
| 9. 運輸業 | 10. 卸売・小売業 | 11. 金融・保険業 | 12. 不動産業 | |
| 13. 飲食店・宿泊業 | 14. 医療・福祉 | 15. 教育・学習支援業 | | |
| 16. サービス業 | 17. その他（ ） | | | |

(5) 年齢

◆ 年齢

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 18～29 歳 | 2. 30～39 歳 | 3. 40～49 歳 | 4. 50～59 歳 |
| 5. 60～69 歳 | 6. 70～79 歳 | 7. 80 歳以上 | |

(6) 居住地

◆ お住まいの自治体

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|---------|
| 1. 延岡市 | 2. 門川町 | 3. 日向市 | 4. 都農町 | 5. 川南町 |
| 6. 高鍋町 | 7. 新富町 | 8. 宮崎市 | 9. 日南市 | 10. 串間市 |

2. 南海トラフの地震について

(1) 南海トラフ地震の関心度について

問1. あなたは南海トラフを震源とする地震（東海、東南海、南海、日向灘の各海域を発生源とした地震により誘発すると想定されている4連動地震を含む。以下「南海トラフ地震」という。）について、どの程度の関心をお持ちですか。ひとつだけお答えください。

- | | | |
|-------------|------------|-------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. 多少関心がある | 3. あまり関心がない |
| 4. 全く関心がない | 5. わからない | |

(2) 南海トラフ地震が起こる可能性について

問2. あなたは今後、南海トラフ地震が起こる可能性について、どのようにお考えですか。ひとつだけお答えください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. いつ起きてもおかしくない | 2. 2～3年以内に起きるのでは |
| 3. 10年以内に起きるのでは | 4. 20～30年の間に起きるのでは |
| 5. 30年～100年の間に起きるのでは | 6. 100年以上先に起きるのでは |
| 7. わからない | |

(3) 南海トラフ地震で心配なこと

問3. もしも南海トラフ地震が起こったとしたら、あなたはどのようなことが心配ですか。

複数回答可

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| 1. 津波、浸水、堤防の決壊 | 2. 土砂崩れ、崖崩れ |
| 3. 地割れ、陥没、液状化現象 | 4. 火災の発生やガスなどの危険物の爆発 |
| 5. 建物の倒壊 | 6. 家具・家電などの転倒 |
| 7. 避難所にたどり着けないこと | |
| 8. 外出先、勤務先などから帰宅することができなくなる | |
| 9. 家族の安否確認ができなくなる | 10. 食料、飲料水、日用品の確保が困難になる |
| 11. ガソリン、灯油などの燃料の不足 | 12. 電気、水道、ガスの供給停止 |
| 13. 避難所生活 | 14. 治安の混乱 |
| 15. 心配なことはない | 16. その他 () |
| 17. わからない | |

3. 地震・津波への意識と避難について

(1) 具体的な災害イメージ

問4. あなたは、これまでに今お住まいの地域が、自然災害の被害に遭うことを具体的に想像したことがありますか。想像したことがある内容を次の中からお答えください。

複数回答可

- | | | | |
|------------|--------------------|--------------|-------------|
| 1. 地震 | 2. 津波 | 3. 河川の氾濫 | 4. 土砂崩れ、崖崩れ |
| 5. 高潮 | 6. 竜巻、突風、台風などによる風害 | 7. 想像したことがない | |
| 8. その他 () | | 9. わからない | |

(2) 参考になる自然災害情報について

問5. 自然災害に関して、参考になると思うのはどのような情報でしょうか。次の中からお答えください。

複数回答可

- | | | |
|---|---------------------|-----------|
| 1. 国や地方公共団体が公表している災害危険箇所を示した地図（ハザードマップ） | | |
| 2. 国や地方公共団体が公表している被害想定区域図 | | |
| 3. 過去の災害教訓 | 4. 災害に遭った人などの体験談 | |
| 5. マスメディアからの災害報道 | 6. 防災に関する講演会やシンポジウム | |
| 7. 災害対策を取り上げたテレビやラジオ番組 | 8. 災害対策に関する情報誌や書籍 | |
| 9. 特にない | 10. その他 () | 11. わからない |

(3) 家族や身近な方との災害対処方法の話し合いについて

問6. あなたは、ここ1～2年ぐらいの間において、家族や身近な方と災害への備えや災害が起きたらどう対処するかなどについて話し合ったことがありますか。ひとつだけお答えください。

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. ある | 2. ない | 3. わからない |
|-------|-------|----------|

(4) 対処方法の内容について

問6-1. ※問6において「1. ある」とお答えした方におたずねします。

話し合った内容について、該当するものを次の中からお答えください。複数回答可

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1. 心構えについて | 2. 避難の方法、避難時期、避難場所について |
| 3. 食料、飲料水などの備蓄について | 4. 非常持ち出し品について |
| 5. 家族や身近な方との連絡手段について | 6. 家屋の安全性について |
| 7. お住まいの地域の災害危険箇所等について | 8. お住まいの地域で過去に発生した災害について |
| 9. お住まいの地域以外で過去に発生した災害について | |
| 10. その他 () | 11. わからない |

(5) 大地震が起こった場合に備えての日頃からの対策

問7. あなたの家庭では、大地震が起こった場合に備えて、日頃よりどのような対策をとっていますか。次の中からいくつでもお答えください。複数回答可

- | | | |
|-------------------------------------|------------------------|-----------|
| 1. 火災を想定して、消火器や水をはったバケツを常に準備している | | |
| 2. 感震ブレーカー（揺れを感知後、電気を自動停止する装置）の設置 | | |
| 3. 自宅や家財を対象とした地震保険の加入 | 4. 家具、家電の転倒防止等の措置 | |
| 5. 家族内で避難する場所を予め決めておく | 6. 防災訓練に積極的に参加 | |
| 7. 家族の安否確認の方法を決めておく | 8. 食料や飲料水、日用品などを準備しておく | |
| 9. 自家用車の燃料を常に補給しておく | 10. 懐中電灯などの非常灯の準備 | |
| 11. 常時、風呂の水をためておく | | |
| 12. 外出時にはスマートフォンなどの通信機器の予備電池を携帯しておく | | |
| 13. 非常用の衣類、布団などの準備 | 14. 貴重品などの持ち出し方法を決めておく | |
| 15. 特に何もしていない | 16. その他 () | 17. わからない |

(6) 「浸水想定区域図」及び「浸水開始時間予測図」の認知度について

問8. あなたは、県が作成した津波による「浸水想定区域図」及び「浸水開始時間予測図」を見たことがありますか。ひとつだけお答えください。	
1. どちらも見たことがある	2. 「浸水想定区域図」のみ見たことがある
3. 「浸水開始時間予測図」のみ見たことがある	4. どちらも見たことがない
5. わからない	

(7) 津波の浸水深や到達時間の理解度

問8-1. ※問8において「1. どちらも見たことがある」とお答えした方におたずねします。 あなたは、自宅の位置やお住まいの地域を「浸水想定区域図」及び「津波開始時間予測図」で確認することができ、かつ津波の浸水深や到達時間などについて理解することができましたか。ひとつだけお答えください。	
1. 確認でき理解することができた	2. 確認はできたが、理解はできなかった
3. 確認はできなかったが、理解はできた	4. 確認も理解もできなかった
5. その他 ()	

(8) 「ハザードマップ」の閲覧の有無について

問9. あなたは、市町村が作成した津波に関する「ハザードマップ」を見たことがありますか。ひとつだけお答えください。		
1. 見たことがある	2. 見たことがない	3. わからない

(9) 「ハザードマップ」の理解度について

問9-1. ※問9において「1 見たことがある」とお答えした方におたずねします。 あなたは、自宅の位置やお住まいの地域を津波に関する「ハザードマップ」で確認し、避難路や避難場所等を理解することができましたか。ひとつだけお答えください。	
1. 十分理解することができた	2. 概ね理解することができた
3. よくわからなかった	4. その他 ()

(10) 大地震への対処について (日中)

問10-1. ある日の昼間、あなたが自宅にいるとき、突然今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われました。揺れは約3分間続き、その最中に、自宅のある地域に大津波警報等が発表された(地震発生から約3分後)とします。このとき、あなた自身はどのような避難行動を取りますか。ひとつだけお答えください。
1. 揺れが収まったら、すぐに避難する
2. 揺れが収まった後、すぐには避難せず、なんらかの行動を終えてから避難する
3. 早めに避難すべきと思うものの、目の前に津波が迫ってくるのが見えてから避難する
4. 避難すべきと思うものの、避難が困難であるため、最後まで自宅にとどまる
5. 避難をあきらめており、目の前に津波が迫ってきても避難せず、最後まで自宅にとどまる
6. 自宅が安全な場所にあるため、自宅の外には避難しない

(11) 大地震への対処について (夕方)

問10-2. ある日の夕方、あなたが自宅にいるとき、突然今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われました。揺れは約3分間続き、その最中に、自宅のある地域に大津波警報等が発表された(地震発生から約3分後)とします。このとき、あなた自身はどのような避難行動を取りますか。ひとつだけお答えください。
1. 揺れが収まったら、すぐに避難する
2. 揺れが収まった後、すぐには避難せず、なんらかの行動を終えてから避難する
3. 早めに避難すべきと思うものの、目の前に津波が迫ってくるのが見えてから避難する
4. 避難すべきと思うものの、避難が困難であるため、最後まで自宅にとどまる
5. 避難をあきらめており、目の前に津波が迫ってきても避難せず、最後まで自宅にとどまる
6. 自宅が安全な場所にあるため、自宅の外には避難しない

(12) 大地震への対処について (深夜)

問10-3. ある日の深夜、あなたが自宅で就寝中に、突然今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われました。揺れは約3分間続き、その最中に、自宅のある地域に大津波警報等が発表された(地震発生から約3分後)とします。このとき、あなた自身はどのような避難行動を取りますか。ひとつだけお答えください。
1. 揺れが収まったら、すぐに避難する
2. 揺れが収まった後、すぐには避難せず、なんらかの行動を終えてから避難する
3. 早めに避難すべきと思うものの、目の前に津波が迫ってくるのが見えてから避難する

- 4. 避難すべきと思うものの、避難が困難であるため、最後まで自宅にとどまる
- 5. 避難をあきらめており、目の前に津波が迫ってきても避難せず、最後まで自宅にとどまる
- 6. 自宅が安全な場所にあるため、自宅の外には避難しない

(13) 避難しない主な理由

問10-4. ※問10-1において、「4. 避難すべきと思うものの、避難が困難であるため、最後まで自宅にとどまる」又は「5. 避難をあきらめており、目の前に津波が迫ってきても避難せず、最後まで自宅にとどまる」とお答えした方におたずねします。

あなたが避難しない理由は何ですか。複数回答可

- 1. 避難場所を知らないから
- 2. 自身の体力や健康上の理由から避難が困難だから
- 3. 介護や育児を要する方が世帯内にいるから
- 4. 避難経路が危険だから
- 5. 家財等を残して避難することに抵抗があるから
- 6. これまでの経験から想定されたような津波は来ないと思うから
- 7. その他 ()
- 8. わからない

(14) 避難場所（緊急的に避難する場所）の認知度

問10-5. ※問10-1において「1. 揺れが収まったら、すぐ避難する」とお答えした方におたずねします。
あなたは予め市町村が定めた避難場所（緊急的に避難する場所）をご存じですか。ひとつだけお答えください。

- 1. 知っている
- 2. 知らない
- 3. わからない

(15) 避難場所（緊急的に避難する場所）への避難

問10-6. ※問10-5において「1. 知っている」とお答えした方にお聞きします。
あなたは予め定められた避難場所（緊急的に避難する場所）に避難しますか。ひとつだけお答えください。

- 1. 避難する
- 2. 定められた避難場所へは避難しない
- 3. わからない

(16) 家の外に出るまでに要する時間

問10-7. あなたが避難のために家の外にでるまでにどれぐらいの時間がかかると思いますか。
なお、家の中は地震で家具や家電などが散乱しており、停電で真っ暗になっていることとします。
ひとつだけお答えください。

- 1. 5分以内
- 2. 5～10分
- 3. 10～15分
- 4. 15～20分
- 5. 20～30分
- 6. 30～40分
- 7. 40～60分
- 8. 60分以上
- 9. わからない

(17) 家の外に出てから避難場所にたどり着くまでに要する時間

問10-8. あなたが家の外に出てから避難場所にたどり着くまでに、どれぐらいの時間がかかると思いますか。
なお、当日は、夜中で、しかも雨もふっており、移動手段は歩行です。ひとつだけお答えください。

- 1. 5分以内
- 2. 5～10分
- 3. 10～15分
- 4. 15～20分
- 5. 20～30分
- 6. 30～40分
- 7. 40～60分
- 8. 60分以上
- 9. わからない

(18) 定められた避難場所へ避難しない理由

問10-9. ※問10-6において「2. 定められた避難場所へは避難しない」とお答えした方にお聞きします。
定められた避難場所へ避難しない理由は何ですか。複数回答可

- 1. 自身の体力や健康上の理由から
- 2. 介護や育児を要する方が世帯内にいるから
- 3. 地域住民と関わりたくないから
- 4. 定められた避難場所よりも安全な場所を知っているから
- 5. 定められた避難場所までの歩道等が十分に整備されていないから
- 6. 避難場所が窮屈そうだから
- 7. ペット同伴だから
- 8. 実際、訓練どおりにいけるかどうか不安だから
- 9. 訓練等に参加していないので避難場所までいけるかどうか不安だから
- 10. 避難場所の施設に不満があるから
- 11. その他 ()
- 12. わからない

4. 県や市町村に求める地震・津波防災対策等

(1) 県、市町村に望む津波対策について

問 1 1. 津波被害が想定される区域への対策として、県、市町村に何を望みますか。複数回答可
1. 避難勧告や避難指示等の迅速な決定と的確な伝達方法の確立 2. 避難路の整備（舗装、手すりの設置、階段の設置、誘導灯、看板等々） 3. 避難所、避難場所の新設や改築（資機材の購入含む） 4. 避難所への備蓄品整備 5. 要支援者の避難誘導體制の確立 6. 情報伝達資機材の整備（防災無線等） 7. 津波に対応した防潮堤の整備 8. 津波のエネルギーを抑制する防風林の整備 9. 避難タワー、避難ビルの整備 10. 避難所の耐震化 11. 避難路が塞がれないよう隣接宅地擁壁等の調査点検、補強 12. 効果的な自主防災組織づくりへの支援 13. 効果的な防災訓練の実施 14. 地域に特化した防災計画づくりへの支援 15. 津波災害警戒区域や特別警戒区域の設定（規制区域の設定） 16. 津波の危険性が高い区域の集団転移施策 17. その他（ ） 18. わからない

(2) 住まいの地域の避難所について

問 1 2. あなたがお住まいの地域の避難所（一定の期間避難生活をする場）をご存じですか。ひとつだけお答えください。
1. 知っている 2. 知らない 3. わからない

(3) 共同生活する上で避難所に求めるもの

問 1 2-1. ※問 1 2において「1. 知っている」とお答えした方にお聞きします。あなたが避難所に一定期間避難しなくてはなくなった場合、共同生活する上で避難所に何を求めますか。複数回答可
1. トイレ（簡易トイレのほかにトイレトイレットペーパーや生理用品含む） 2. 布団 3. 乳児用品（粉乳、おむつ等） 4. 介護用品（おむつ等） 5. 風呂 6. 空調設備 7. 簡易ベッド 8. 寝泊まりする際の仕切り（パーテーション） 9. 水道 10. 調理施設 11. 食料、飲料 12. その他（ ） 13. わからない

(4) 備蓄食料について

問 1 3. あなたが避難所生活を余儀なくされたことを想定した場合、あなたならあらかじめ何日間の備蓄食糧（飲料水含む）を準備しておきますか。ひとつだけお答えください。
1. 準備しない 2. 1日分の食糧 3. 2日分の食糧 4. 3日分の食糧 5. 4日～5日分の食糧 6. 5日～7日分の食糧 7. それ以上 8. わからない

(5) 充実を望む災害情報について

問 1 4. あなたがお住まいの地域の災害の危険性或災害対策について、普段から充実してほしい情報は何か。この中からお答えください。複数回答可
1. 居住地域で過去に災害が発生した場所を示す地図 2. 今よりも詳しくてわかりやすい浸水想定区域図やハザードマップ 3. 災害情報に関する標識類の意味や内容の説明 4. 災害用語、気象用語の定義や解説 5. 学校や公共施設の耐震性 6. 現状のままで十分だ 7. その他（ ） 8. わからない

(6) 防災情報の入手手段について

問15. あなたが防災全般に関する知識や情報を入手するために今後、積極的に活用したいものはどれですか。該当するものをこの中からお答えください。複数回答可	
1. テレビ	2. ラジオ
3. インターネット環境などからの防災情報	4. 新聞
5. 雑誌、書籍	
6. 国や地方公共団体が作成した防災パンフレット	
7. 防災訓練、避難訓練	8. 防災に関する講演会、セミナー
9. ツイッターやフェイスブックなどの SNS からの情報	
10. 地域の会合（自主防災組織や消防団含む）	11. 勤務先からの情報
12. 家族、知人からの情報	13. その他（)
14. 特にない	15. わからない

(7) 防災訓練について

問16. 国や地方公共団体、自治会などでは、毎年、地震や豪雨などを想定した防災訓練を実施していますが、今まであなたは、これらの防災訓練に参加したり見学をしたりしたことがありますか。ひとつだけお答えください。
1. 参加したことがある
2. 参加したことはないが見学したことはある
3. 訓練が行われていることは知っていたが、参加も見学もしたことはない
4. 訓練が行われていることさえ知らなかった
5. わからない

(8) 防災訓練に参加や見学をしてみて感じたこと

問16-1. ※問16において「1. 参加したことがある」若しくは「2. 参加したことはないが見学したことはある」とお答えした方にお聞きします。訓練に参加や見学をしてみてどのようなことを感じましたか。この中からお答えください。複数回答可
1. 防災の大切さを知る機会となった
2. 災害時に自らがとらざるを得ない行動について知る機会となった
3. 災害時の防災組織の活動について知る機会となった
4. 内容が形式的で期待していた内容とかけ離れていた
5. イベント化しており危機感を感じない内容であった
6. 住民やボランティアや行政等の連携を知る機会となった
7. 住民やボランティアや行政等の連携が図れていなかった
8. より多くの関係者が参加して訓練を行うべきと感じた
9. その他（)
10. 特に感想はない
11. わからない

(9) 防災訓練に参加も見学もしたことがない理由

問16-2. ※問16において「3. 訓練が行われていることは知っていたが、参加も見学もしたことはない」とお答えした方にお聞きします。訓練に参加も見学もしたことがない理由をお聞かせください。複数回答可
1. 具体的な日時などの案内が来なかったから
2. 申し込み方法が煩雑だから
3. 自治会に加入していないから
4. 防災に関心や興味がないから
5. 時間がなかったから
6. 自分は災害に遭わないと思っているから
7. 知り合いがいないから
8. 育児や介護を要する方が同居しているから
9. 自分自身が体力的にも参加が困難であるから
10. その他（)
11. 特に理由はない
12. わからない

(10)「自助」「共助」「公助」について

災害が起きた際、その被害を最小限に食い止めるためには、

「自助（じじょ）」 →自分の身は自分で守ること

「共助（きょうじょ）」 →地域の方で助け合うこと

「公助（こうじょ）」 →行政が行う救助、援助、支援

この三助の働きが重要であるという考えがあります。

問 17. 災害が起こったときにとるべき対応として、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。
ひとつだけお答えください。

1. 「自助（じじょ）」に重点をおくべき

2. 「共助（きょうじょ）」に重点をおくべき

3. 「公助（こうじょ）」に重点をおくべき

4. 三助のバランスが図られるべき

5. その他（ ）

6. わからない

5. 住宅の耐震化と出火対策等

(1) 住まいの構造について

問18. あなたが現在お住まいのご自宅の構造について、ひとつだけお答えください。(複数の構造が混在する場合は、普段生活している部分の構造をお答えください。)

1. 木造の一軒家
2. 木造の集合住宅（マンション、アパート等）
3. 鉄筋コンクリートの一軒家
4. 鉄筋コンクリートの集合住宅（マンション、アパート等）
5. 木造及び鉄筋コンクリート以外の一軒家
6. 木造及び鉄筋コンクリート以外の集合住宅（マンション、アパート等）

(2) 住まいの高さについて

問18-1. 何階建て建物の何階にお住まいですか。(戸建ての場合は前段のみ回答)

() 階建ての、() 階に居住

(3) ご自宅を建築された時期について

問18-2. ※問18において「1. 木造の一軒家」とお答えした方にお聞きします。
あなたのご自宅を建築された時期を教えてください。
ひとつだけお答えください。

1. 昭和56年6月1日以降
2. 昭和56年5月31日以前
3. わからない

(3) 補助制度の認知度

問18-3. ※問18-2において「2. 昭和56年5月31日以前」若しくは「3. わからない」とお答えした方にお聞きします。宮崎県内の市町村では、昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅の耐震化に要する費用の一部を補助していますが、この補助制度についてご存じですか。ひとつだけお答えください。

1. 知っている
2. 知らない
3. わからない

(4) 耐震化の検討

問18-4. ※問18-2において「2. 昭和56年5月31日以前」若しくは「3. わからない」とお答えした方にお聞きします。

ご自宅の耐震化の検討について、現在どのようにお考えですか。ひとつだけお答えください

1. 耐震補強工事を検討している
2. 建て替えを検討している
3. 特に何も考えていない
4. その他 ()
5. わからない

(5) 「感震ブレーカー」の認知度

問19. 大地震の際に発生する火災の半数以上が電気関係による出火ですが、この対策として、電気のブレーカーを落として避難するか、大きな地震の際は自動的に電気を遮断してくれる「感震ブレーカー」を設置することが有効であることをご存じでしたか？ひとつだけお答えください。

1. 知っていた
2. 知らなかった
3. わからない

(6) 「感震ブレーカー」の設置状況

問20. あなたがお住まいの住宅には、「感震ブレーカー」が設置されていますか？
ひとつだけお答えください。

1. 設置されている
2. 設置されていない
3. わからない